



●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●時間外在校等時間の上限を遵守する。 ○時間外在校等時間の平均を前年度より2時間減を目指す。	・管理職による継続した呼びかけとノー時間外勤務デー等の設定 ・教材の再利用や共有化を図り、教材研究を効率よく行う。 ・各種校内書類の合理化と簡素化を図り事務作業を軽減する。 ・会議の精選と時間短縮を図り、教材研究の時間を確保する。						様式1(特別支援学校)	管理職
--------------------	----------------------	---	--	--	--	--	--	--	-------------	-----

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目										
重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標(数値目標)		進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言	
○進路指導とキャリア教育の充実	○児童生徒及び保護者、ならびに学校職員が将来の自立と社会参加を意識して取り組もうとするための進路指導とキャリア教育の提供	○児童・生徒の将来の自立と社会参加を見据えた指導・支援ができていると回答する職員が80%以上を目指す。  ○自立と社会参加に向けた進路指導、キャリア教育が提供されていると回答する保護者が70%以上を目指す。	・学校とPTAの連携による、ニーズに応じた進路研修を企画・運営する。 ・「福祉サービス事業所情報」冊子や「進路だより」の発行とホームページを活用して取り組みの周知、理解を広げる。 ・本人、保護者、担任の足並みが揃うよう見学、懇談の機会を充実させる。							進路指導部

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・次年度への展望	<ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul>
----------------	---